

ティー ネット  
T・NET 通信

2007 WINTER

No. 35

発行

財団法人 日本ユニセフ協会 学校事業部

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス TEL:03-5789-2014 FAX:03-5789-2034 E-mail:se-jcu@unicef.or.jp  
ホームページ http://www.unicef.or.jp 募金口座◎郵便振替・00190-5-31000・(財)日本ユニセフ協会

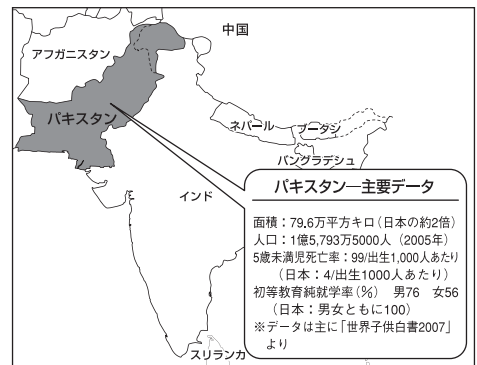
# ユニセフ・パキスタン地震支援報告 「子どもの大惨事を最小限に」

2005年10月8日8時50分頃、パキスタン北部を襲ったマグニチュード7.6の大地震は多くの人びとに深刻な被害をもたらしました。

ユニセフは、パキスタン政府や軍、国連機関、NGO、市民団体と連携をとり、地震発生から1時間後に支援活動を開始。きびしい地形条件のなかで多くの成果をあげることができました。

2006年9月25日までに、日本の皆さまからパキスタン地震緊急募金へお寄せいただいた募金総額は、約11億8,640万円にのぼり、被災直後の支援活動に役立てられました。多くの学校の皆さまからあたたかいご支援をいただきましたことに、心よりお礼を申し上げます。

\*2005年10月9日より受付を開始した「パキスタン地震緊急募金」は、2006年9月末日をもって受け付けを終了しました。



※地図は参考のために掲載したもので、国境の法的地位について何らの立場を示すものではありません。  
※シンド、ムハ、カシミールの地位の確立については当事者の合意が得られていません。

## パキスタン地震の被害

地震による被害は、パキスタン史上最悪の事態となりました。死亡者は7万3,000人以上、負傷者は7万9,000人以上にのぼり、さらに60万戸以上の家、被災地の学校施設のうち約67%にあたる7,600棟や、多くの保健施設が破壊されました。地震は授業中だった学校を襲い、1万7,000人以上の子どもが命を奪われ、1万人の子どもが一生涯に残る重いけがを負ったため、「子どもの大惨事」と呼ばれています。



アン・ベネマン ユニセフ事務局長は、国連機関のトップとして最初に被災地を視察。支援は一刻を争うことを広く世界へアピールしました。©UNICEF/HQ05-1621/Asad Zaidi

## ユニセフの迅速な対応

地震発生直後から、支援物資を被災地へ輸送し、国内には5つの新たな活動拠点を設立。総勢150名の

スタッフが①保健 ②水と衛生 ③栄養 ④教育 ⑤子どもの保護の5つの分野で大規模な緊急支援活動を展開しました。



カラチから輸送される支援物資 ©UNICEF/Pakistan

## ユニセフの支援活動の成果

- 被災者用キャンプにいる子ども全員に予防接種を実施
- 衛生的な環境を保ち、伝染病、病気、汚染による第2の死の波を回避
- 安全な水の供給
- 4,000以上の臨時テント学校の設定
- 100以上の「子どもに優しい空間」を設置…1万人以上の子どもが安全に学び遊べる空間を利用



「子どもに優しい空間」で子どもたちと活動するユニセフスタッフ ©UNICEF/HQ06-1227/Asad Zaidi

## 被災地の子どもたちへのユニセフの主な5つの支援分野

①保 健	● 緊急保健キット ● 医療品の提供 ● 予防接種の実施 ● ビタミンAの投与
②水と衛生	● 安全な水の供給 ● 浄水剤、水を入れる容器の配布 ● 共同トイレ、給水ポイントの設置 ● 衛生キット ● 衛生教育用資料の配布
③栄 養	● 高栄養ビスケット ● 栄養補助食 (UNIMIX) の提供
④教 育	● 教育キットの配布 (80人分の文具や学習資材が入ったセット) ● 臨時テント学校の設置 ● 教師向け研修
⑤子どもの保護	● テント、ビニールシートの提供 ● 毛布、冬衣料キット (1人分のスノーブーツ、厚手のジャケット、ショール、帽子、靴下) の配布 ● レクリエーションキット (サッカーボール、おもちゃ、ゲーム) の配布 ● 身寄りを失った子どもの身元確認と保護 ● 一生残る重いけがを負った子どもを適切な医療施設へ紹介 ● 「子どもに優しい空間 (子どもたちが安心して学んだり、遊んだり、カウンセリングを受けることのできる場所)」の設置

## ユニセフの緊急支援活動 ここがポイント

### 過去の教訓から得た豊富な経験を生かして

災害の危険性の高い国では、防災対策の一環として、緊急支援物資を備蓄しています。今回の支援ではパキスタン国内に備蓄していた支援物資が役立ちました。

ユニセフからの物資が山岳地帯に到着  
©UNICEF/HQ06-0307/Giacomo Pirozzi



### すべての子どものために、とりこぼしのない支援を目指して

深い谷から高くそびえる山の頂上まで点在する村は1,000以上。ユニセフは支援を必要とするすべての子どもをとりこぼさないように、綿密な調査を行い、パキスタン軍と協力してヘリコプターで支援物資を子どもたちのもとへ!

冬衣料キットをうけとった子どもたち  
©UNICEF/HQ05-1741/Asad Zaidi



### 初等教育の完全普及をめざして

テント学校で授業を受けるようになった女の子の80%は、それまで学校に通いたくても通うことができなかった子どもたちでした。

小学生のソビアちゃんは「地震の前は学校が遠すぎて通えなかったわ。今はテント学校で授業を受けられるようになって、目の前に新しい世界が広がったわ!」とうれしそうに話していました。

テント学校で学ぶ女の子  
©UNICEF/HQ05-1758/Asad Zaidi



## これからのパキスタンへの支援内容 “地震が起こる前よりも、よい環境を子どもたちへ”

被災地域の社会指標は、パキスタン国内でも最低値を示しています。ユニセフは今後3年間にわたる復興と再建支援活動に主導的な役割を果たします。避難先から被災地へ戻った子どもたちが地震によって失った日常をとり戻せるように、地震前よりもより良い環境を子どもたちへ…ユニセフは今後も支援を続けます。